

特集:ぽらん 3周年イベント開催報告

11月5日でぽらんが3周年を迎え、11月1日から6日までイベント開催しました。

2018年に神奈川区内に居場所を設立しようと決めて、当初は生活クラブ関連の拠点多い六角橋で検討していましたが、物件が見つからず、助成金の申請に間に合わせるために、東急線の反町とブルーラインの三ツ沢下町駅から徒歩から近い今の松ヶ丘に決めました。よく知らない場所で、どうやったら地域の居場所として認知してもらえるか、試行錯誤の3年間でした。

3年前 開店当初のぽらん



◇ぽらんロゴの名称を決定



「ぼこ」

ぽらんのロゴは、宮沢賢治の小説をイメージしてつくってもらいました。タヌキは、水曜日開催している介護予防のデイサロンのイメージキャラクターとして「ぽらんのこども」ということから「ぼこ」と名付けました。今回、三周年を機にたくさんいるキャラクターのうち「山猫」の名前を公募することにしました。周年イベントごとにキャラクターの名前を公募できたと思っています。



山猫の名前が決定

応募は全部で27件。応募者の名前を隠して理事会で検討し、「たんたん」に決定。反町からイメージしたそうです。採用者にはカフェぽらんのランチ券をプレゼントしました。

◇ぽらんサポーター制度を始めました。

カフェぽらんの3か年計画プロジェクトでサポーター制度が提案されました。プロジェクトはまだ終了していませんが、次年度まで待つことなく3周年イベントから始めることにしました。数は多くありませんが、ぽらんニュースを見た地域の方が、応援したいと早速加入してくれました。

写真は人気の「季節を味わおう弁当」
季節によって内容が変わります

感謝ウイーク
11/1(月)～11/6(土)
11/4(水)はカフェは定休日
期間中映画上映(裏面参照)
15時～17時ごろ
密を避けるため事前に予約をお願いします。
参加費：300円(飲物代) 11/8は無料

感謝ウイーク期間中ランチ・テイクアウト弁当
ご注文の方にクッキープレゼント

反町カフェぽらん
おかげ様で三周年

■特集：ぼらんは3周年を迎えました。



◇3周年イベント～映画上映～

昨年同様、コロナ感染がまだ不安なのでしゃべらなくてもいい映画上映としました。「レベッカ」、「第三の男」、「名もなく貧しく美しく」、「となりのトトロ」に加え、いつもは「デイサロンぼこ」と就労準備講座のある水曜日が文化の日だったため、午前・午後の2回アニメ「鬼滅の刃」を上映しました。でも、コロナの感染が落ち着いてきたため、昨年よりも来場者は少なかったです。

◇地域とのつながり～3年間の成果

神奈川コモンズニュースで3周年イベントを伝えてくれたおかげで、映画上映会には組合員が結構来場してくれました。今は、神奈川コモンズが積極的にカフェぼらんを利用してきています。福祉クラブ生協との連携もさらにすすみました。カフェぼらんニュースを毎回組合員に配布しているので、ニュースを見て、健康チェックや講座に参加してくれています。

チラシを撒いていると地域に根付いてきたなと実感しています。庭に出ている人には「カフェぼらんです」と手渡ししますが、「ご苦労様」、「一度行ってみたいと思っているの」、「〇〇さんがよく行っているところよね」と言ってもらえます。一度もいらないと断られたことはありません。スマホ講座を始めとして講座参加者に地域の方が増えてきています。これからは、地域の中から運営に関わってくれる人を発掘し、もっと地域に必要とされる居場所をめざしていきます。(松川由美)

◆月に一度の「季節を味わうお弁当」



10月
を味わう
お弁当

今年度はいつものランチよりちょっと豪華な季節を感じるお食事ということで月1回の特別メニューの日を設けました。旬の野菜やお魚を取り入れて9品目～10品目のちょっと手の込んだお弁当です。食材などの値上がりを気にしながらですが、値段はそのままやさしい価格で頑張っています。

バランスを考えながらのメニュー作りは大変ですがなるべくバラエティーに富んだメニューを取り入れるよう考えています。おかげさまでリピーターの方も増え限定30個をご用意していますが毎月売り上げを伸ばしています。皆さんに喜んでいただいているので本当にうれしく思います。今後も好評のものを集めたり、リクエストにお応えしたり「ベスト10」弁当などいかがでしょう

(林 奈保子)

季節を味わう
クリスマスBoxランチ

毎月好評頂いている
季節を味わうお弁当
1個からご予約を承ります。

12月23日(木)
&
24日(金)

写真は昨年のランチBoxです

- カツナの押し炙り ☆からあげ
- ☆ローストポーク
- ☆キャロットラペ
- ☆紅のなすの揚げ
- ☆かぼちゃのクリームシチュー
- ☆ミニフーズバーガー
- ☆デザート、リンゴカップケーキ

お一人様 1,000円(税込み)

◆居場所としての今後の活動

反町カフェぼらんは2021年11月で3周年を迎えました。これまで毎週水曜日に横浜市介護予防・生活支援補助事業「デイサロンぼこ」、月1回のコミュニティ食堂、地域向けの講座や学習会、夏休みこども企画、シネマカフェなどを開催してきました。

3周年を迎えるにあたり、これまでの活動を振り返るとともに、今後のカフェぼらんの目指すところと具体的な活動計画を作成するプロジェクトを立ち上げました。

振り返りでは、対象者や機能が当初めざしていたものと異なってきていることを確認し、①困ったときに誰でも相談できる場とする ②就労困難者だけでなく障害者や小中学生にも対象を拡大し、中間就労や職場体験の場とする ③生活スキルだけでなく社会経験を豊かにするための生活の学校とする、という新たなコンセプトを掲げました。

プロジェクトで今後3年間の重点目標3点について具体策を検討しました。カフェ事業については、調理を担うメンバーや有償ボランティアの発

掘、就労体験の場としての活用、ランチ以外のティータイムの工夫などの課題に対し、生活クラブの広報などを活用し地域の人に関わってもらう、サポーター会員制度をつくりぼらんのコンセプトを示した上で支えてもらうこととしました。

ワークス・コレクティブはっぴいさんとの連携の在り方もプロジェクトの目的の一つでした。「コミュニティキッチンぼらん」から「はっぴいさん」「反町カフェぼらん」まで協会としては社会的協同組合B型として位置付けてきました。社会的協同組合B型とは、社会的に困難な状況に置かれた人たちが3割以上働いているというイタリアの協同組合です。カフェぼらんスタート時からはっぴいさんのメンバーが、有償ボランティアとして参加していました。今でははっぴいさんメンバー5人がカフェのスタッフやお弁当の配達、チラシ配りなどでカフェぼらんをサポートしてくれています。ぼらんの周辺ではっぴいさんのメンバーや利用者さんも増えてきています。こういったはっぴいさんとの連携を協定書のような形で明確にしようと検討しています。今年度中に答申をまとめる予定です。
(荻野 慶子)



◆12月からコミュニティ食堂は

たんたん食堂になります！

「こんにちは」「こんばんは」と、土曜日の夕方、地域の人たちがカフェぽらんを訪れます。ぽらんで地域の居場所として毎月第3土曜日の夜6時から開催している「コミュニティ食堂」の参加者の皆さんです。

シェフは、ぽらんと同じ神奈川県で生活クラブの消費材で安心できる手作りのお弁当を届けているミズ・キャロット六角橋メンバーで協会の阿部理事です。ちらし寿司、和風ハンバーグ、たけのこご飯、ナポリタン、チヂミ・チャプチェ、キーマカレー、煮魚定食、さつまいもご飯、鮭のちゃんちゃん焼き、きのこご飯など、季節を感じる多彩なメニューを、参加者の皆さんはいつも楽しみにしてくれています。

最初の緊急事態宣言の時は少しお休みしましたが、楽しみにしてくれている常連さんたちの声もあり、アクリル板や換気、検温などの感染対策をして、その後の宣言下でも開催しています。

タロットカード占いが好きな人、にぎやかな親子、おしゃべりの好きな人、協会に相談のあった若者などの常連さんとスタッフが美味しいご飯を食べながらひと時を過ごしています。また、コミュニティ食堂では、スタッフと共に協会の就労支援を受けた若者もボランティアで、参加者の検温やお茶や食事を運んだりなど活躍しています。



↑10月のコミュ食です

月1回のコミュニティ食堂ですが、今では地域と若者をつなぐ貴重な居場所になっています。ぽらん3周年を迎え、愛称の決まった山猫「たんたん」にちなみ、12月からコミュニティ食堂を「たんたん食堂」と名付けました。

12月の「たんたん食堂」ではクリスマスイベントを考えています。これからも協会の「共に働く・暮らす」まちづくりの場として、地域の居場所「たんたん食堂」を続けていきたいと思えます。
(吉田 美佐子)



たんたんとうに!
たいっしょくべよう!